

安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	城東 1	路線名 (主) 松江鹿島美保関線 (一) 本庄福富松江線	区	起	殿町191	延長	1,047 m
			間	終	学園南一丁目435		
区分	○ネットワーク		イメージ	整備	歩道整備 ・擬石平板ブロック舗装 ・景観照明、植栽 車道整備 ・排水性舗装	概算金額	2,300,000 千円

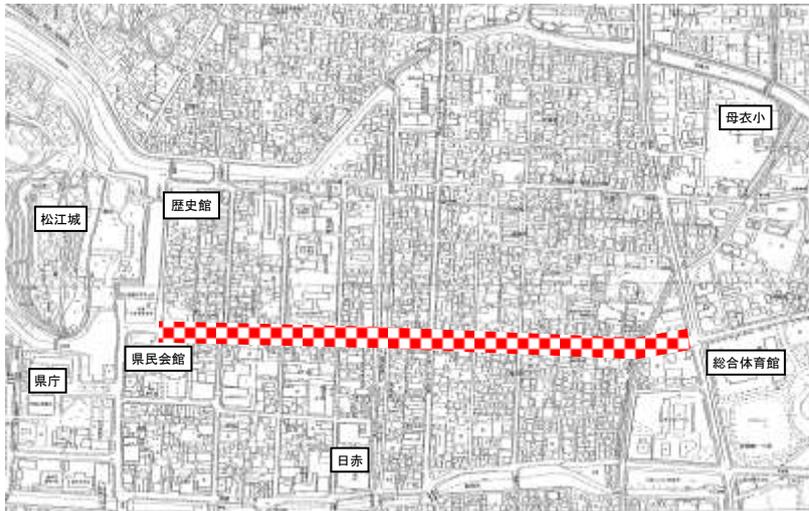
コメント

街路事業（都市計画道路城山北公園線）において4車線化、電線地中化、歩道整備を計り、円滑で快適な都市交通を創出するとともに安全で快適な歩行空間をつくる。また、沿道のまちづくりを検討し、中心市街地の活性化を支援する。

【主な整備効果】

- ①渋滞緩和、②歩道の整備、③中心市街地の活性化、④緊急輸送道路の整備、⑤都市機能の強化

位置図、現況写真



【参考：完成イメージ】



安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	城東 2	路線名 北田大手前線 母衣町大橋川線	区間	起 北田町188-12 終 母衣町180-10	延長	575 m
区分	○ネットワーク ○まちあるき観光	イメージ 整備		歩車道美装化(北田大手前線) ・歩道石畳舗装、景観照明 ・車道排水性舗装 歩道拡幅(母衣町大橋川線) ・片側歩道新設、カラー舗装	概算金額	70,000 千円

コメント

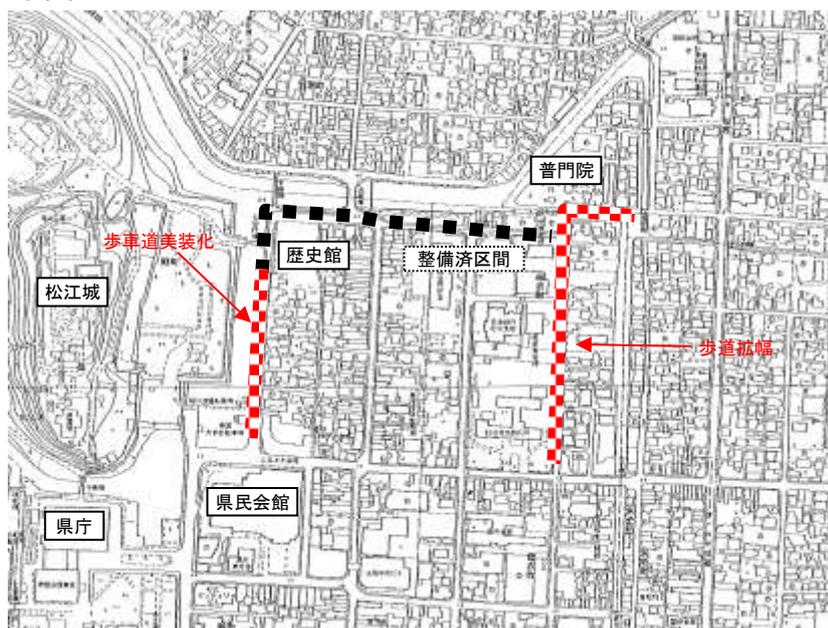
歴史館から普門院までの整備済みの歩道を、都市計画道路城山北公園線の整備に合わせて、起終点とも大手前通りまで延伸整備する。

大手前、歴史館から続く美装化(石畳やカラー舗装)された歩行帯を普門院前、そして南の大手前通りまで接続し、快適で統一感のある歩行環境を整えることで観光客のまちあるきを促進する。

【関連する計画】

- 第3次松江市歩道整備計画
- 第2期大手前通り周辺地区都市再生整備計画
- 松江おちらとあるき定時コース

位置図、現況写真



【北田大手前線(歴史館前)】



【母衣町大橋川線(普門院通り)】

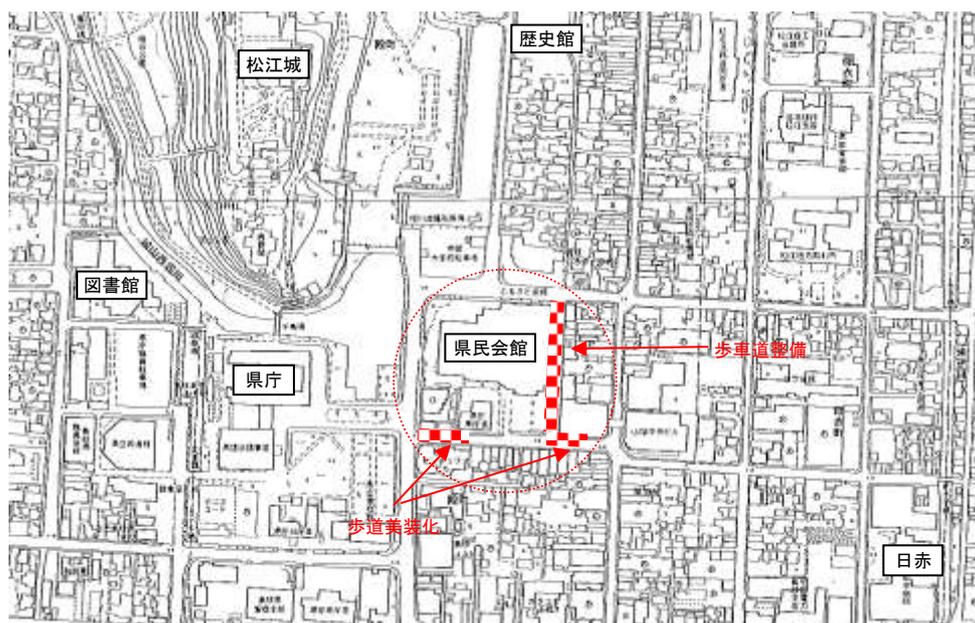
安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	城東 3	路線名 県民会館東線 県民会館南線	区間 起 殿町111 終 殿町154-2	延長	220 m
区分	○ネットワーク ○公共交通機関発着所	イメージ 整備	歩道整備（県民会館東線） ・縁石設置、カラー舗装 歩道美装化（県民会館南線）	概算金額	10,000 千円

コメント

旧一畑百貨店跡地近辺の再開発で整備した県民会館駐車場に接道する暫定形の歩道と、電線類地中化で整備した歩道の一部未整備区間について、都市計画道路城山北公園線の整備に合わせ、県民会館前バス停から大手前通りまで連続整備することで、主要交通結節点近隣の良好な歩行環境を整える。

位置図、現況写真



【県民会館東線(県民会館駐車場前)】



【県民会館南線(センチュリービル前)】

安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	城東 4	路線名	母衣南北線	区間	起 母衣町11-1 終 母衣町55	延長	550 m
区分	○公共交通機関発着所	イメージ	整備	歩道拡幅、セミフラット化	概算金額	131,000 千円	

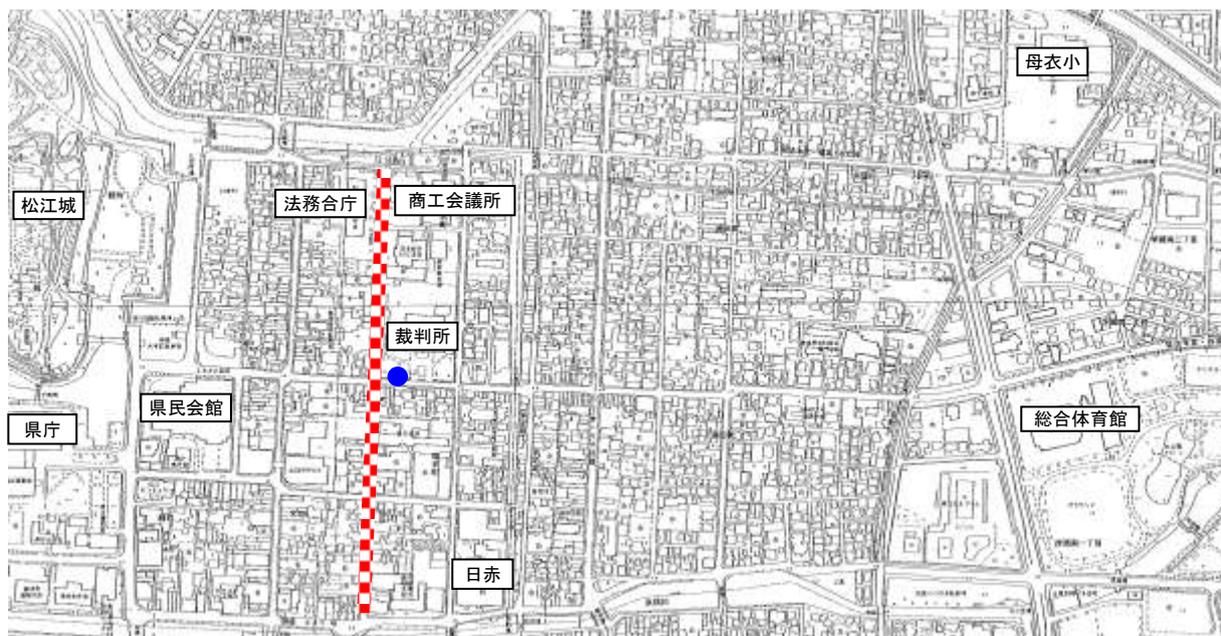
コメント

バス停に近接し、裁判所、法務合庁、商工会議所に接道する本路線について、狭小なマウンドアップ型の両側歩道をセミフラット型で拡幅することで、バリアフリー整備を行う。

【関連する計画】

第2期大手前通り周辺地区都市再生整備計画

位置図、現況写真



安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	城東 5	路線名	母衣町大橋川線	区間	起 母衣町193-2 終 母衣町198-1	延長	150 m
区分	○公共交通機関発着所		イメージ 整備 シ	歩車道美装化 、セミフラット化 ・歩道カラー舗装 ・車道舗装改良		概算金額	55,000 千円

コメント

総合病院（日赤）と主要バス停（県民会館前）付近で、交通弱者をはじめ多くの歩行者が見込まれる路線。

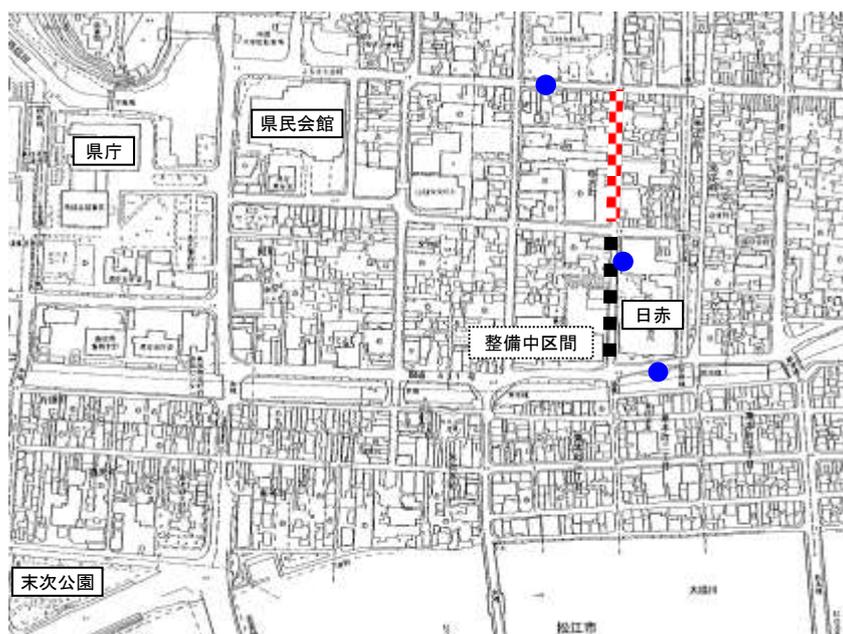
本路線の日赤前面の区間は現在整備中であり、引き続き北側区間も連続整備することで安心・安全な歩行環境を整える。

【関連する計画】

第3次松江市歩道整備計画

第2期大手前通り周辺地区都市再生整備計画

位置図、現況写真



【参考：整備中区間】

安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	城東 6	路線名	南殿町歩行道路	区間	起 殿町96	終 殿町102	延長	110 m
区分	○まちあるき観光		イメージ 整備 メー ジ	歩行者専用道路の美装化 (カラー舗装)		概算金額	34,000 千円	

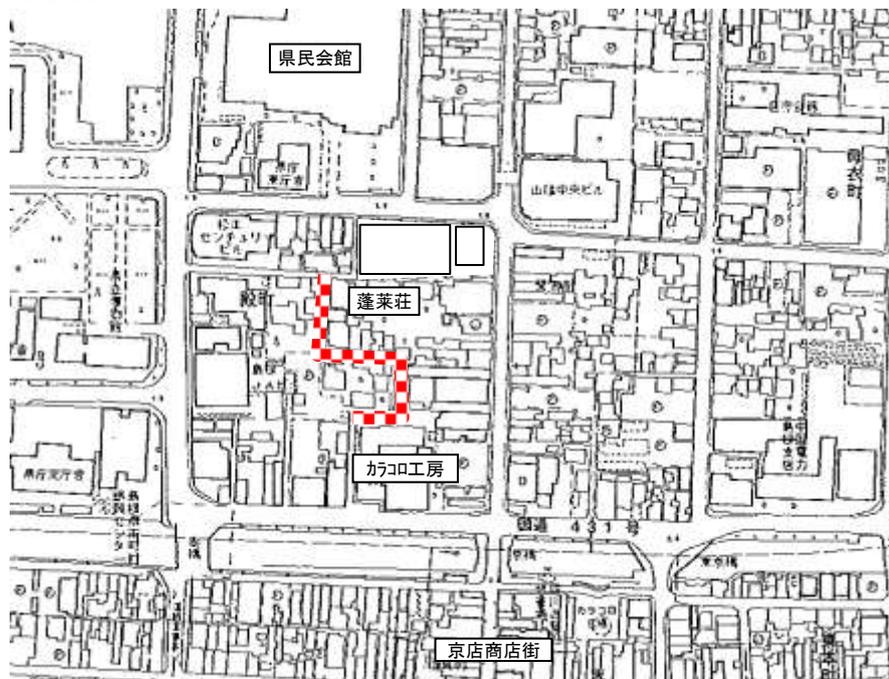
コメント

観光客の利用が多いカラコロ工房と蓬萊荘を結ぶ小路（法定外公共物）をカラー舗装で美装化し、カラコロ工房界隈のさらなる魅力向上を図り、大手前から京店商店街に至るまちあるき観光を促進する。

【関連する計画】

第2期大手前通り周辺地区都市再生整備計画
松江おちらとあるき特別コース

位置図、現況写真



安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	城東 7	路線名	京店1号線 中原上追子線 幸橋東京橋線	区間	起 片原町100 終 末次本町26	延長	635 m
区分	○まちあるき観光 ○商店街・大型商業施設		イメージ 整備	道路の美装化		概算金額	79,000 千円

コメント

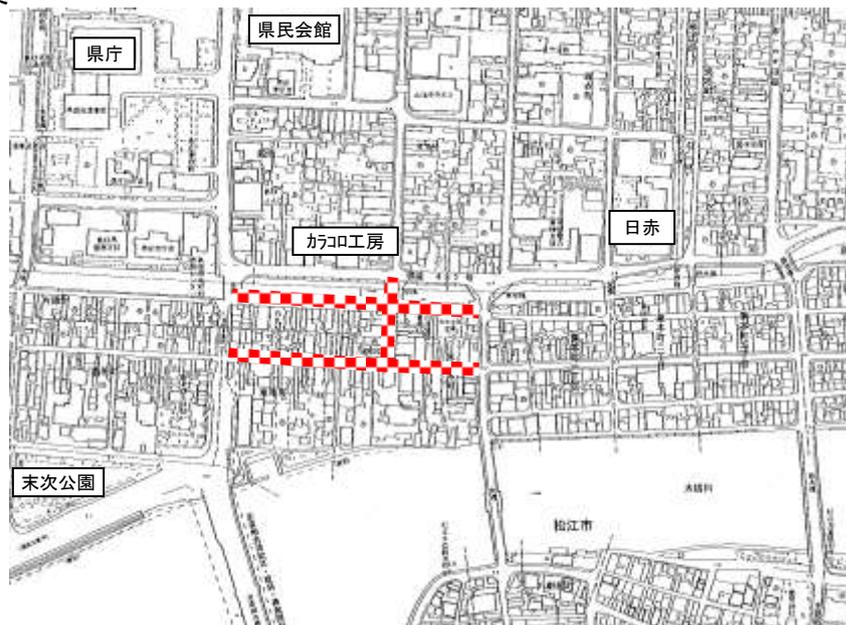
商店街の再開発事業によって整備された石畳舗装が老朽化し、剥離の都度部分補修を行っているため、つぎはぎの舗装で景観上好ましくない。また、破損部は全延長にわたり生じており、歩行者が転倒するなど問題が指摘されている。

最も観光客が訪れる地区のひとつでもあり、景観上好ましく、かつ維持管理に適した舗装に改良することで、市民及び観光客の快適で安全な歩行環境を整える。

【関連する計画】

松江おちらとあるき定時コース

位置図、現況写真



【京店商店街】



【茶町商店街】

安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	城東 8	路線名	中原上追子線	区間	起 末次本町47 終 東本町一丁目45	延長	135 m
区分	<ul style="list-style-type: none"> ○ネットワーク ○まちあるき観光 ○商店街・大型商業施設 	イメージ	<ul style="list-style-type: none"> 歩車道美装化 、セミフラット化 ・歩道インターロッキング舗装 ・車道舗装改良 	概算金額	41,000 千円		

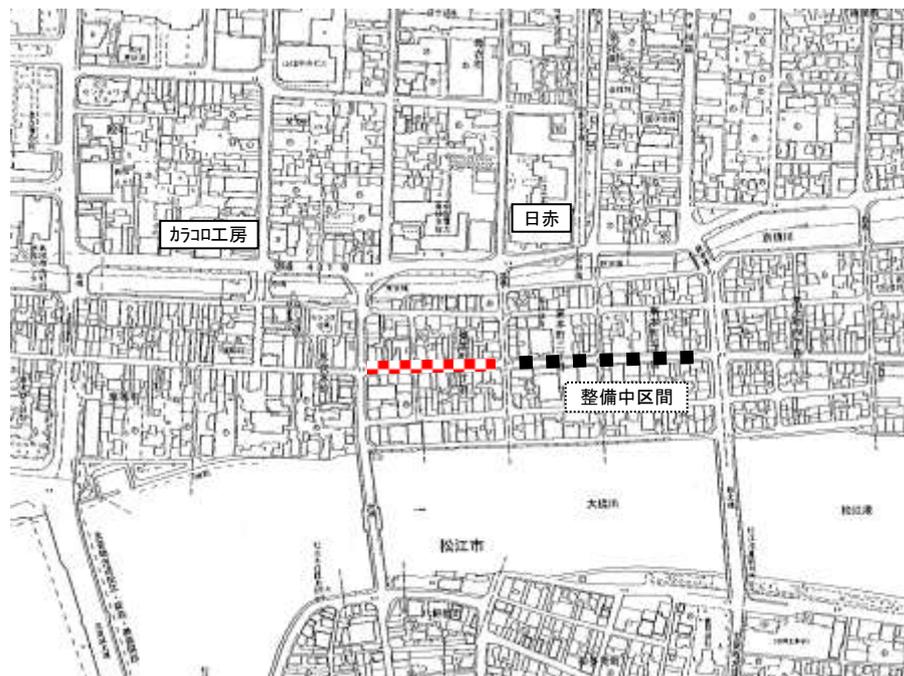
コメント

多くの市民や観光客が通行する主要飲食店街中央通りの歩道を拡幅するとともに、バリアフリー化、美装化を行い、快適で安全な歩行空間を設け、地域経済の活性化を図る。新大橋通りまでの東側区間については24年度末までに整備予定。

【関連する計画】

- 第3次松江市歩道整備計画
- 松江おちらとあるき特別コース
- 社会資本総合整備計画（道路）

位置図、現況写真



【参考：整備済の東本町三丁目】

安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	城東 9	路線名 北田大橋線 北田東西1号線	区間	起 北田町42-15 終 南田町92-1	延長	660 m
区分	○通学路 ※交通規制	イメージ 整備 箇所	歩行帯整備（北側区間） ・片側路側帯カラー舗装 ・路側線上にラバーポール設置 歩道拡幅（南側区間）		概算金額	44,000 千円

コメント

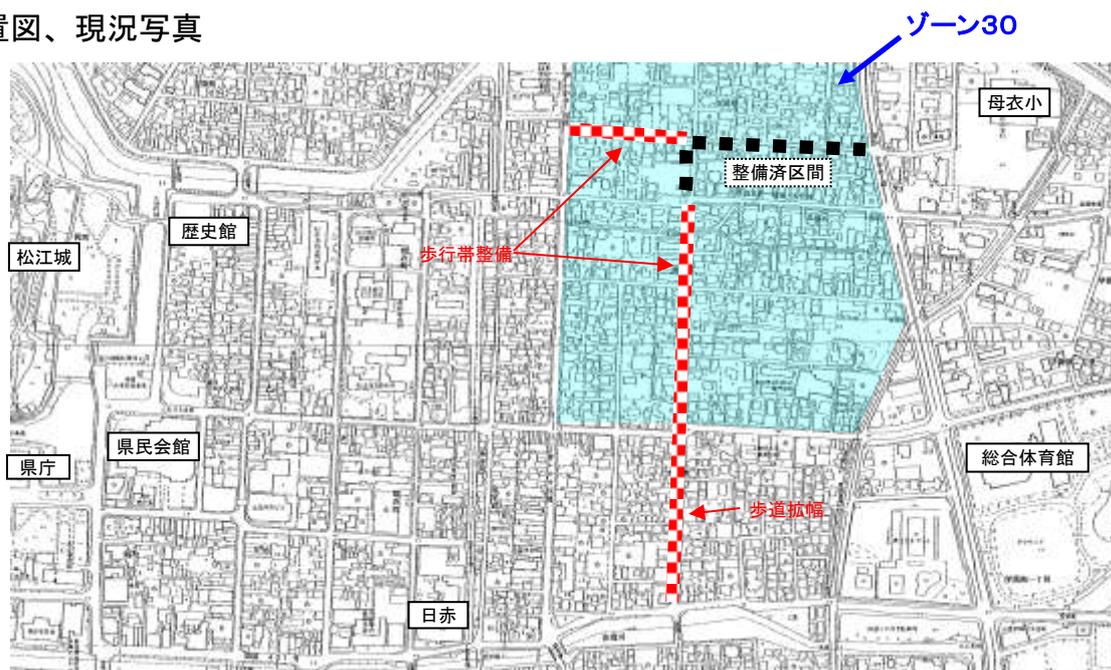
母衣小学校の児童140名が利用する通学路。
 狭隘で一方通行にもかかわらず通過交通が多いため、警察が実施するゾーン30に合わせ、歩行帯を明示することで車両の速度低減を図り、児童の安全を確保する。（旧計画で施行した安全対策の拡大。）

県道以南は、大手前通り地区再生整備計画により両側歩道の拡幅改良を行う。

【関連する計画】

- 通学路緊急対策事業
- 社会資本総合整備計画（通学路）
- ゾーン30
- 第2期大手前通り周辺地区再生整備計画

位置図、現況写真



【参考：整備済区間】

安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	城北 1	路線名 北堀7号線		区間	起 北堀町261-1 終 北堀町1	延長	187 m
区分	○まちあるき観光		イメージ 整備	道路の美装化		概算金額	30,000 千円

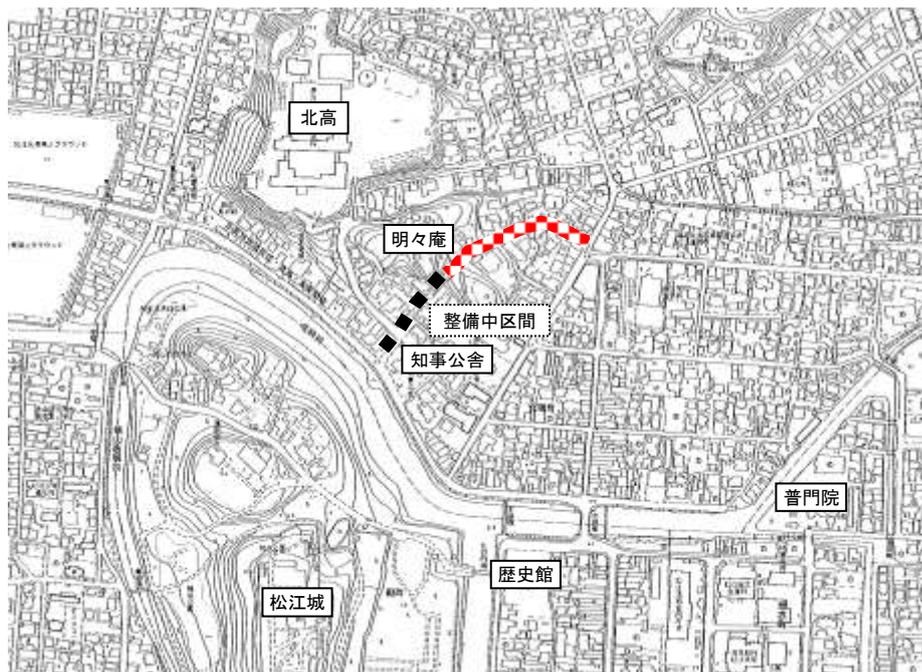
コメント

塩見縄手を知事公舎前から進入する赤山の小路で、明々庵の前を通り石橋町へ抜ける定番のまちあるきコースとなっている。老朽化した舗装と側溝を改良・美装化し、良好な景観を整備する。

【関連する計画】

松江市歴史的風致維持向上計画
松江おちらとあるき定時コース

位置図、現況写真



【参考：整備済区間】

安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	城北 2	路線名 図書館西通線		区間	起 北堀町338 終 北堀町321-1	延長	100 m
区分	○まちあるき観光 ○商店街・大型商業施設 ※交通規制	イメージ 整備		歩車共存道路		概算金額	- 千円

コメント

松江城山公園を稲荷橋から抜け塩見縄手へ通じる路線で、土日祝日の日中は観光客の通行が絶えない。また、この路線の西側には観光客向けの商店が立ち並んでいることから、通称『新橋通り』として観光スポットを形成している。

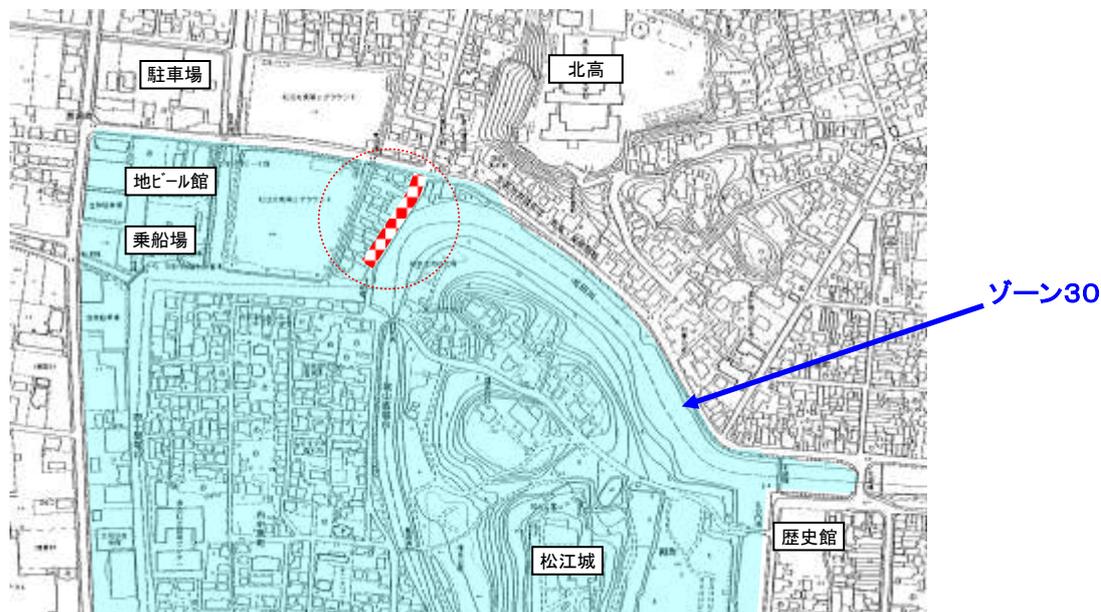
一方で、本路線は松江鹿島美保関線と松江しんじ湖温泉停車場線を結ぶ準幹線道路でもあることから不特定多数の通過交通があり、かつ速度超過の車両も見受けられるなど、観光客をはじめとした歩行者が危険な状況にある。

警察が実施するゾーン30に合わせ、路側帯のカラー化やハンプ・狭さく等の視覚・物理的対策を行うことで、自動車の交通量と速度の抑制を図り、歩行者の安全を確保する。

【関連する計画】

松江おちらとあるき定時コース
ゾーン30

位置図、現況写真



安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

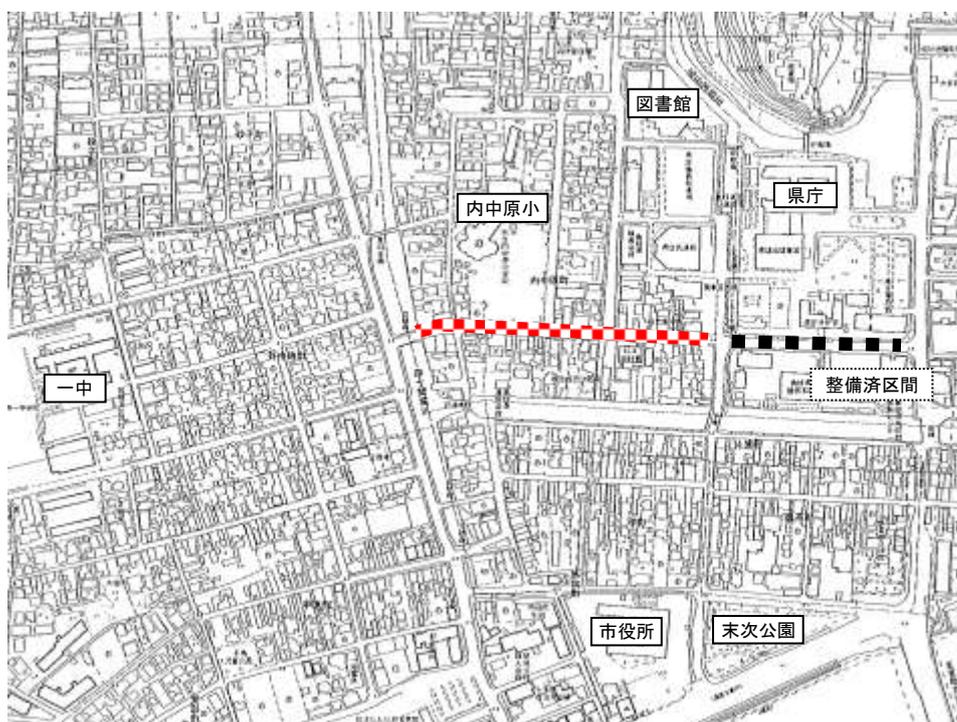
No.	城西 1	路線名 (一) 松江しんじ湖温泉 停車場線	区 間	起 内中原町301 終 殿町2	延長	320 m
区分	○ネットワーク		イメージ 整備	歩道整備 ・電線共同溝の整備 ・両側歩道の確保	概算金額	100,000 千円

コメント

電線共同溝の整備を行い電線類の地中化を図ることにより、安全な歩行空間の創出とともに、危険な交差点部の改良により交通環境の安全の確保を図る。

旧松江警察署交差点から松江鹿島美保関線までについては整備済み区間である。

位置図、現況写真



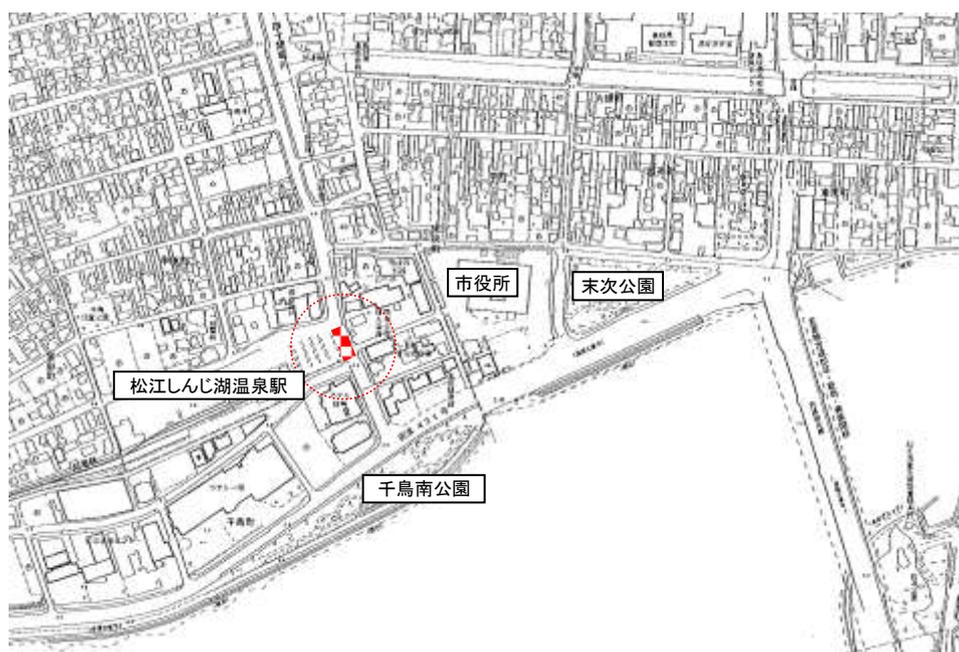
安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	城西 2	路線名 北松江停車場恵曇線		区間	起 千鳥町20 終 中原町52	延長	30 m
区分	○ネットワーク ○公共交通機関発着所	イメージ 整備		歩道新設	概算金額	3,000 千円	

コメント

松江しんじ湖温泉駅バスターミナル東沿いの市道に歩道がないにもかかわらず、土地勘のない観光客が路肩を通行するケースが目立ち危険。松江しんじ湖温泉街（市道千鳥第1号線）に接続する歩道及び横断歩道を新設し、観光客の安全を確保する。

位置図、現況写真



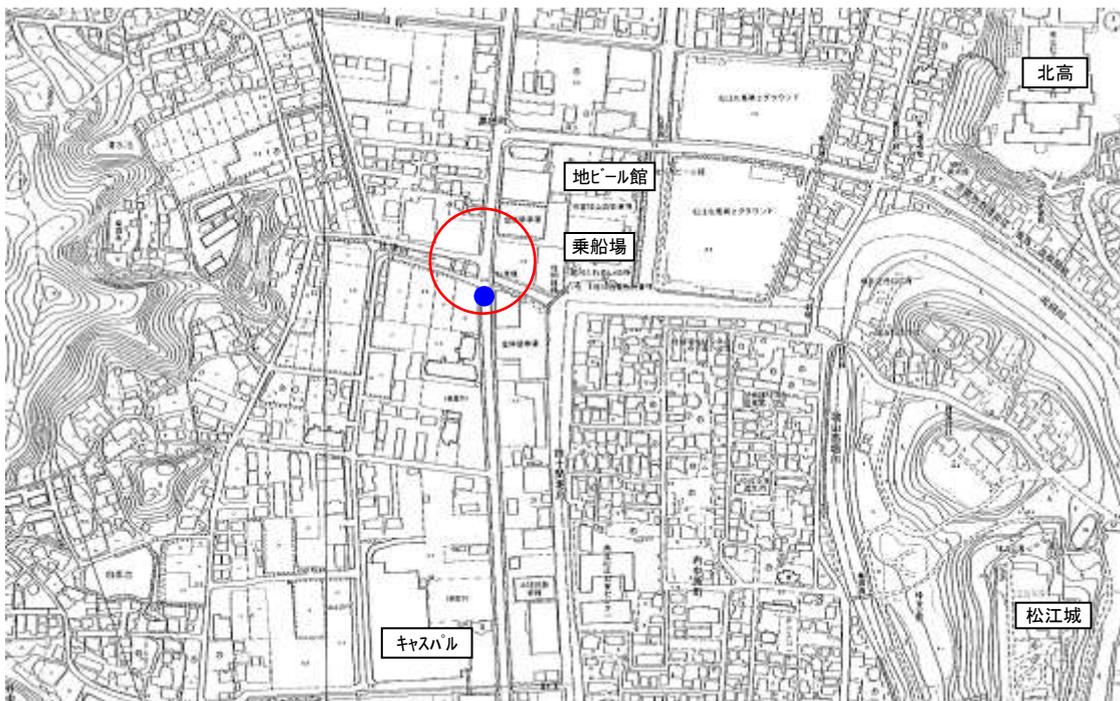
安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	城西 3	路線名	北松江停車場恵曇線 (船津橋)	区間	起 黒田町440-1 終 黒田町455-1	延長	30 m
区分	○ネットワーク ○公共交通機関発着所	イメージ	整備 歩道バリアフリー化 (橋梁取付部の段差解消)	概算金額	30,000 千円		

コメント

船津橋は船津川を南北に架かる橋長9.2mの橋梁で昭和43年に架設されている。周辺の地盤が悪いため船津橋にすりつく道路が沈下しており、南北ともかなりの段差が生じ車椅子や足腰が弱い高齢者にとって通行しにくい歩道となっている。付近にバス停があり歩道の利用があるため、周辺道路のかさ上げを行い勾配を緩和することで、バリアフリーな歩道に改める。

位置図、現況写真



安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

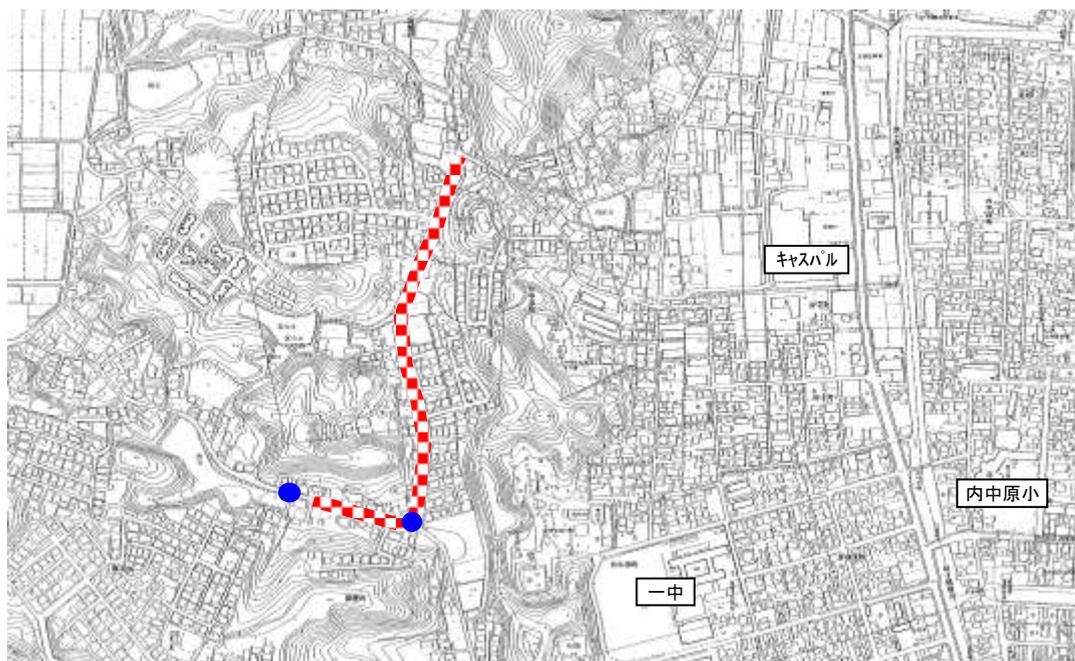
No.	城西 4	路線名	北松江西生馬線 比津国屋線	区間	起 国屋町96-3 終 国屋町409-1	延長	740 m
区分	○通学路 ○公共交通機関発着所		イメージ 整備	歩行帯整備 ・路側帯設置（側溝改良） ・要所に狭さく設置		概算金額	12,000 千円

コメント

内中原小学校の児童120名のほか一中の生徒が利用する通学路。
 長池付近の北松江西生馬線は狭小にもかかわらずバス路線となっており、朝の通過交通も多い。児童の安全確保のため歩行帯を確保する。
 南北の比津国屋線は城山西通りの抜け道としてスピード超過の通過交通が多く危険。狭さくを設置し、車両の速度抑制を図る。

【関連する計画】
 通学路緊急対策事業
 社会資本総合整備計画（通学路）

位置図、現況写真



安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	白潟 1	路線名 和多見天神町線	区間 起 寺町28 終 寺町57	延長	100 m
区分	<ul style="list-style-type: none"> ○ネットワーク ○まちあるき観光 ○商店街・大型商業施設 	イメージ 整備	歩道整備 ・電線類地中化 ・セミフラット化 ・歩道拡幅、カラー舗装	概算金額	119,000 千円

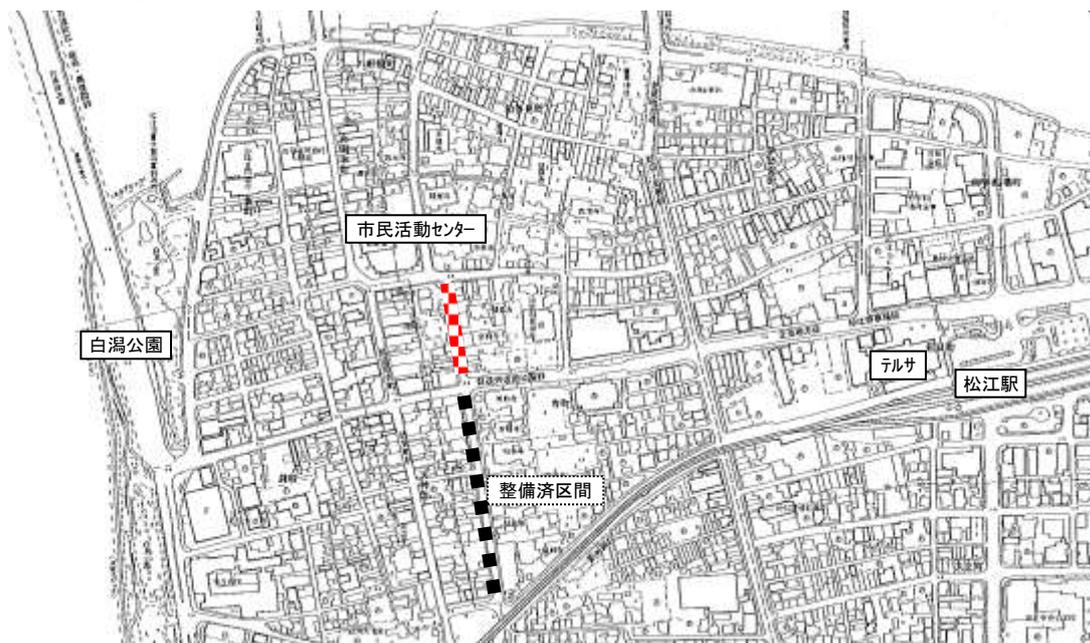
コメント

本路線の南寺町地区及び本路線に接続する駅通り（県道宍道湖公園線）の地中化が完了しており、地中化の連続整備を行うことで良好な景観を創出し、併せて歩道改良することで北寺町商店街をはじめとした近隣商店街の活性化に繋げる。

【関連する計画】

- 第3次松江市歩道整備計画
- 無電柱化計画
- 松江おちらとあるき定時コース

位置図、現況写真



【参考：整備済の南寺町地区】

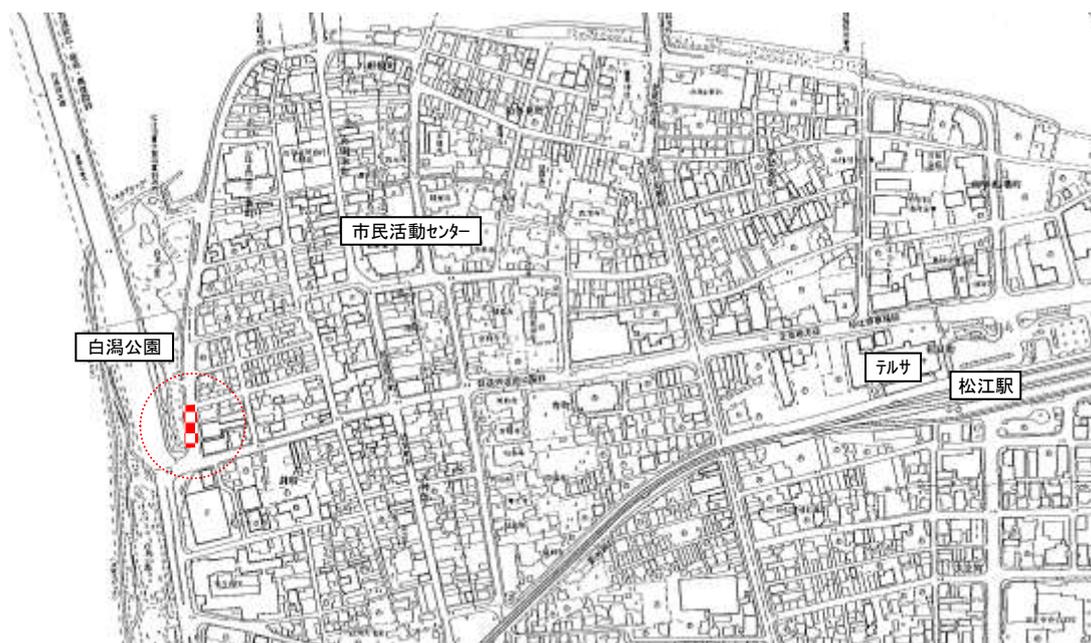
安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	白潟 2	路線名 松江港線		区間	起 灘町45 終 灘町1-19	延長	35 m
区分	○ネットワーク	イメージ 整備 メー ジ			歩道拡幅 、美装化（石畳舗装）	概算金額	7,000 千円

コメント

整備済みの駅通り（県道宍道湖公園線）に接続する市道の未改良部分について、歩道の連続整備を行うことで、駅通りから白潟公園・松江大橋方面への快適な歩行環境を整える。

位置図、現況写真



安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

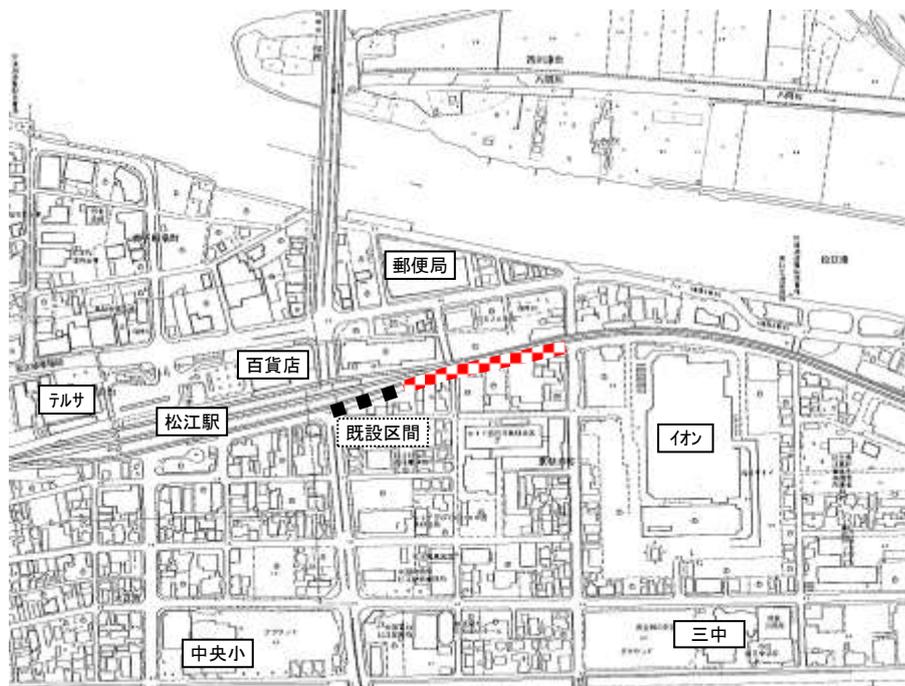
No.	朝日 1	路線名 三中東朝日町線	区間 起 東朝日町116-1 終 東朝日町124-1	延長	170 m
区分	○ネットワーク ○商店街・大型商業施設 ※交通規制	イメージ 整備	歩車共存道路	概算金額	- 千円

コメント

シャミネからイオンへ至る鉄道高架沿いの道路で、途中に東駐輪場があることから歩行者の利用が多い。しかし、道路幅員が狭いことから駐輪場以东に歩道はなく、歩行者すれすれを車両が通行している。

現況の道路空間では歩道の新設は困難なため、交通規制・法定外表示等のソフト対策やハンプ・狭さく等のハード対策を行うことで、自動車の交通量と速度の抑制を図り、歩行者の安全を確保する。

位置図、現況写真



安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

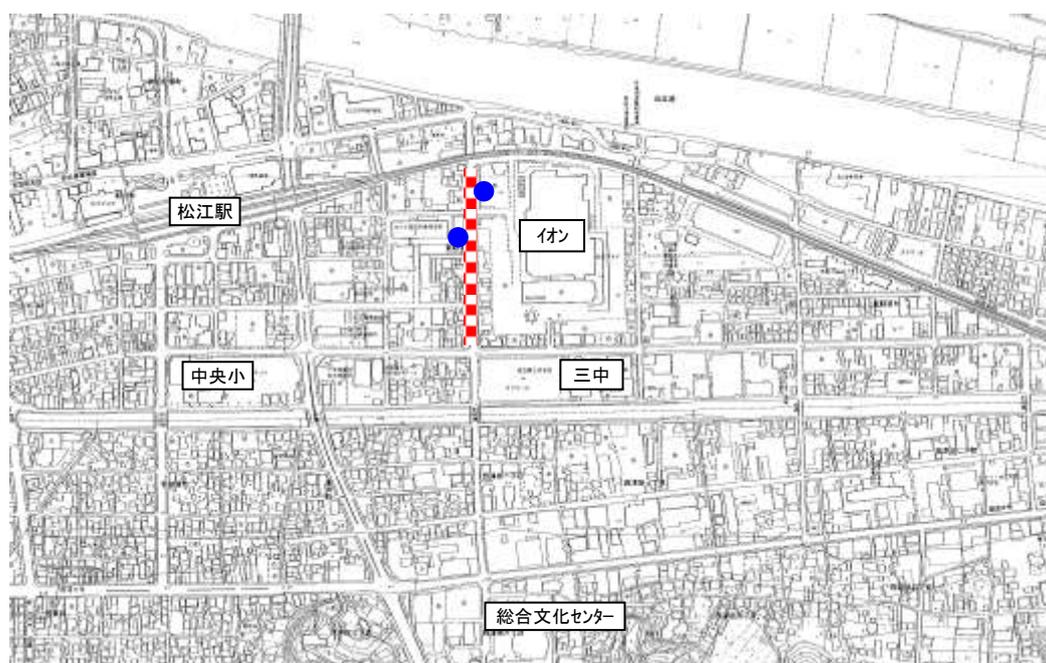
No.	朝日 2	路線名	松江駅東通阿弥陀線	区間	起 東朝日町151 終 東朝日町151-16	延長	250 m
区分	<input type="checkbox"/> ネットワーク <input type="checkbox"/> 公共交通機関発着所 <input type="checkbox"/> 商店街・大型商業施設		イメージ 整備	点字シート設置		概算金額	1,000 千円

コメント

本路線は本市で最も集客のあるショッピングセンターに接道しバス停も設けてあるものの、歩道に視覚障害者用の誘導標（点字シート）がない。

周辺の路線と施設、バス停を結ぶ点字シートを設置し、視覚障害者が安心して通行できる歩道に改める。

位置図、現況写真



安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	朝日 3	路線名 東朝日町中央線	区間 起 東朝日町194-1 終 東朝日町152-1	延長	250 m
区分	○通学路	イメージ 整備	歩道新設（片側）	概算金額	19,000 千円

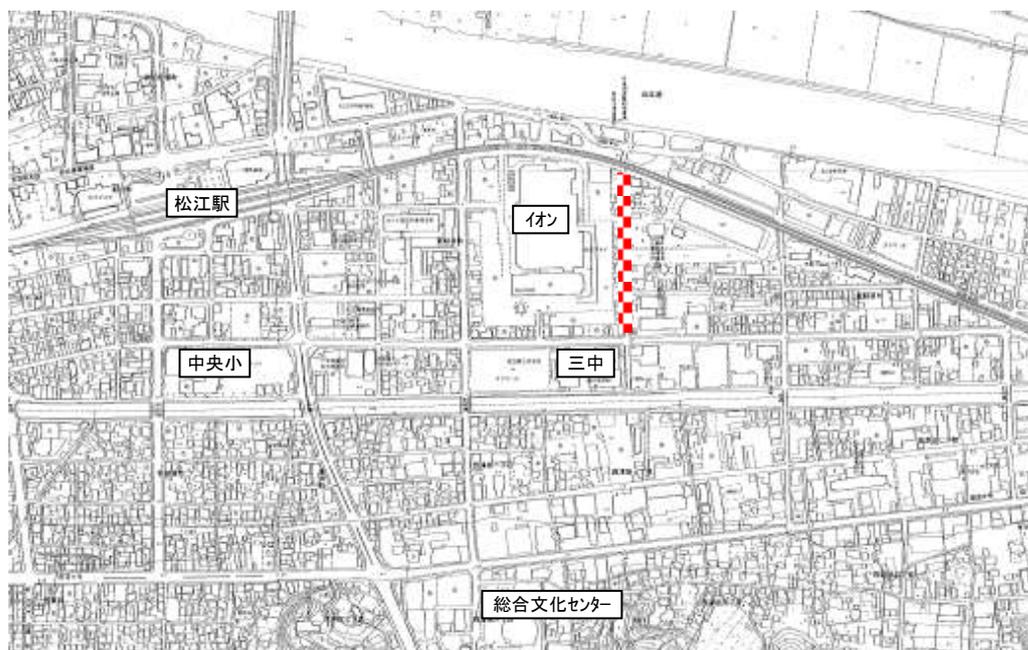
コメント

中央小学校の児童23名が利用する通学路。
 近隣に事業所や商業施設が多数立地するため、北進一方通行にもかかわらず通過交通が多い。児童の安全確保のため片側に歩道を新設する。

【関連する計画】

通学路緊急対策事業
 社会資本総合整備計画（通学路）

位置図、現況写真



安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

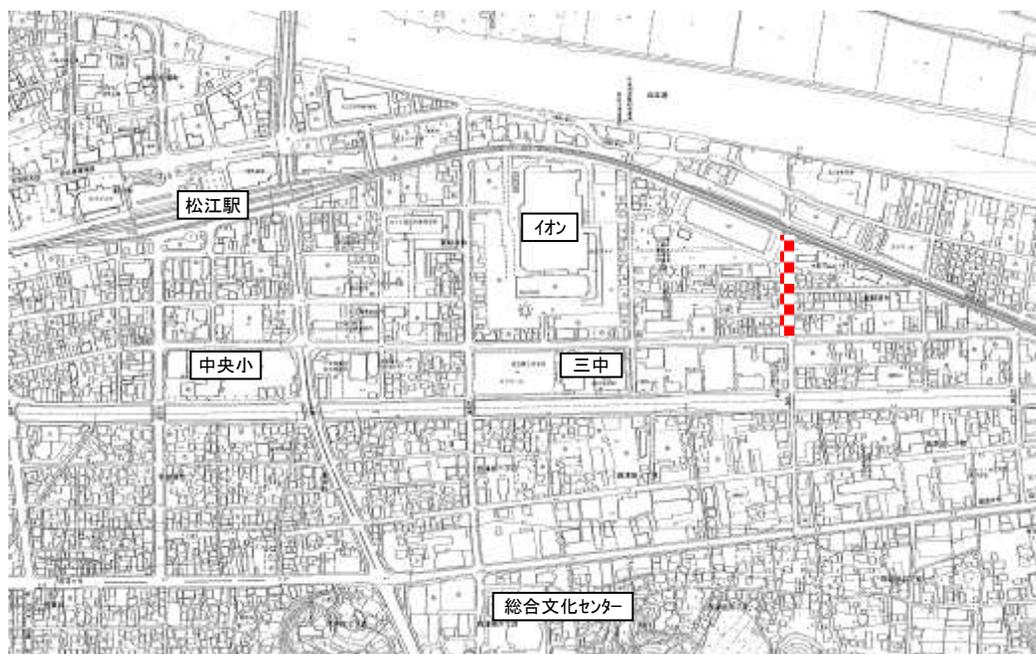
No.	朝日 4	路線名 中橋線	区間 起 東朝日町209-2 終 東朝日町204-1	延長	150 m
区分	○通学路	イメージ 整備	歩道拡幅（片側）	概算金額	11,000 千円

コメント

中央小学校の児童24名が利用する通学路。
 近隣に事業所や商業施設が多数立地するため、南進一方通行にもかかわらず通過交通が多く、片側に歩道があるものの、狭く路面状態も悪い。
 児童の安全確保のため歩道を拡幅改良する。

【関連する計画】
 通学路緊急対策事業
 社会資本総合整備計画（通学路）

位置図、現況写真



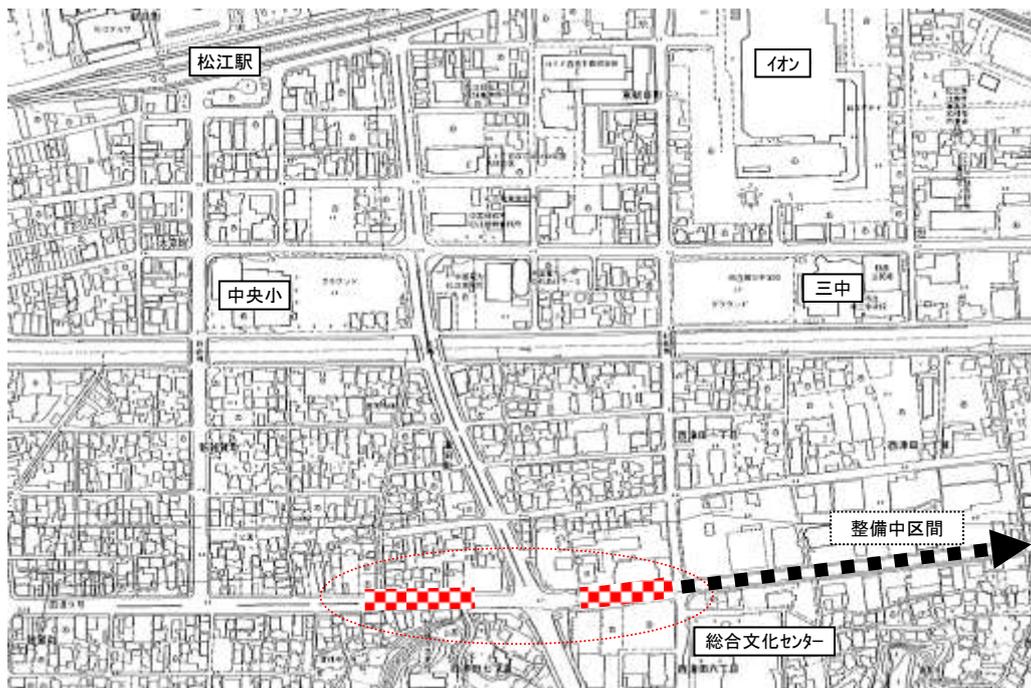
安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	雑賀 1	路線名 国道9号	区間 起 西津田六丁目366-1 終 西津田七丁目197	延長 225 m
区分	○ネットワーク	イメージ 整備 シ	歩道整備 ・電線類地中化 ・歩道幅員確保 ・歩道のカラー化	概算金額 20,000 千円

コメント

電線類地中化に合わせ、歩道幅員を確保すると共に、歩道を透水性舗装（カラー舗装）で整備し、国道9号の良好な歩行環境を整える。

位置図、現況写真



安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	津田 1	路線名	東津田鼻曲線	区間	起 東津田町410-6 終 東津田町1640	延長	1,100 m
区分	○公共交通機関発着所		イメージ 整備	歩道バリアフリー化 (根はり対策)		概算金額	6,000 千円

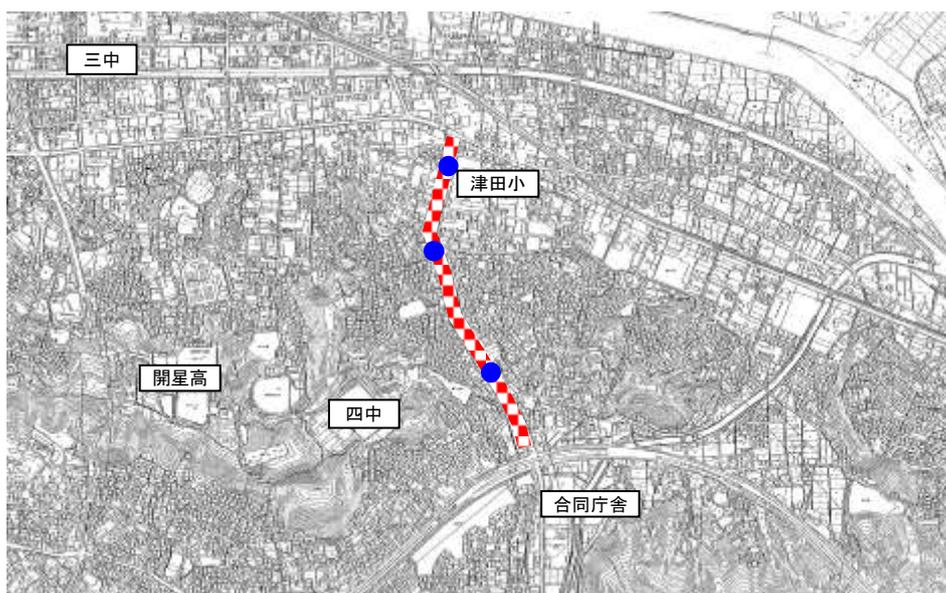
コメント

東津田鼻曲線は沿線に多数の住宅団地が立地する幹線道路で、津田小学校の通学路でもある。

両側歩道に高木を植えることで住宅地として良好な景観を形成しているが、根が成長し歩道の舗装が隆起している。本路線はバス路線で車椅子や足腰が弱い高齢者の通行が見込まれるものの、地形上勾配がきついことに加え歩道がでこぼこしており、交通弱者にとって通行しにくい歩道となっている。

植樹の根はり処理を行うことで、バリアフリーな歩道に改める。

位置図、現況写真



安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	津田 2	路線名	ハサラ沼5号線	区間	起 東津田町1186-2 終 東津田町1199-1	延長	150 m
区分	○通学路	イメージ	整備 歩道拡幅、セミフラット化 (片側)	概算金額	- 千円		

コメント

津田小学校前面の道路で、全校児童が利用する通学路。
水路に蓋掛けしたマウンドアップ型の狭小な歩道で、切り下げ箇所が多いことから歩きにくい。歩道を拡幅しセミフラット化することで児童の安全な通行を確保する。
沿道の建物や道路の形状から施行が難しい。整備手法の精査が必要。

【関連する計画】

第3次松江市歩道整備計画

位置図、現況写真



安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	津田 3	路線名 西津田岡住宅通線	区間	起 西津田三丁目1553-33 終 西津田三丁目1538-5	延長	190 m
区分	○通学路	イメージ 整備	歩行帯整備 ・路側帯カラー舗装 ・要所に狭さく設置		概算金額	23,000 千円

コメント

津田小学校の児童50名のほか四中の生徒が利用する通学路。
 狭小な住宅団地内道路で、近隣に事業所が多数立地するため、通学時間帯は西進一方通行となるものの交通量が多い。そのなかを小学生が東進し、中学生が西進する。
 児童・生徒の安全確保のため歩行帯を確保し、かつ狭さくを設置することで車両の速度抑制を図る。

【関連する計画】
 通学路緊急対策事業
 社会資本総合整備計画（通学路）

位置図、現況写真



安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	津田 4	路線名 鷹日神社上谷線		区間	起 東津田町1721 終 東津田町1615-3	延長	340 m
区分	○通学路 ○公共交通機関発着所	イメージ 整備			歩行帯整備 ・片側路側帯カラー舗装 ・路側線上にラバーポール設置	概算金額	5,500 千円

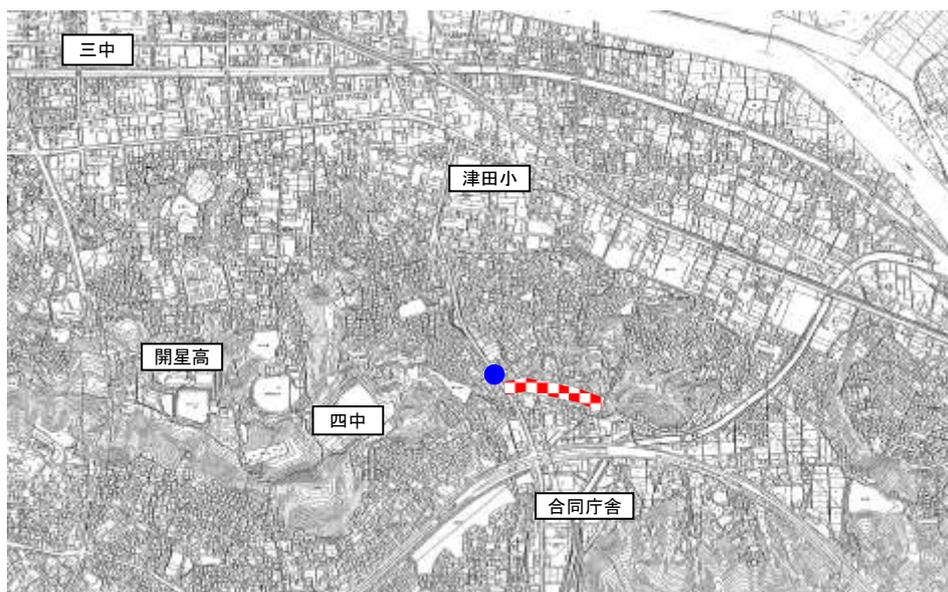
コメント

津田小学校の児童33名のほか四中の生徒が利用する通学路で、沿線の団地住民がバス等を利用する際に徒歩で通行する路線。

本路線の大部分は第2次歩道整備計画で片側歩道を設置しているものの、幅員が確保できなかった市道東津田鼻曲線との交差点までは未整備である。

朝は国道9号をはじめ多方面からの不特定多数の通過交通があり、かつ車両速度も速いため、片側路側帯を拡幅・カラー化し、要所にラバーポールを設置することで、歩行帯の明示と車両速度の抑制を図り、歩行者の安全を確保する。

位置図、現況写真



【参考：整備済区間】

安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	古志原 1	路線名 古志原香南台線	区間 起 古志原四丁目507 終 古志原四丁目1881-1	延長	100 m
区分	○通学路	イメージ 整備	歩道新設（片側）	概算金額	- 千円

コメント

古志原小学校前面の道路で、児童180名が利用する通学路。
旧計画において南側区間は水路を蓋掛けすることで片側歩道を新設したものの、小学校までの残区間については用地の問題で中断した。通学路の安全確保のため、地元調整のうえ片側歩道を連続整備する必要がある。

【関連する計画】

第3次松江市歩道整備計画

位置図、現況写真



【参考：整備済区間】

安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	川津 1	路線名 宮尾学校線	区間	起 西川津町1187 終 西川津町1177-1	延長	85 m
区分	通学路	イメージ 整備 シ		歩道バリアフリー化 (セミフラット化)	概算金額	11,000 千円

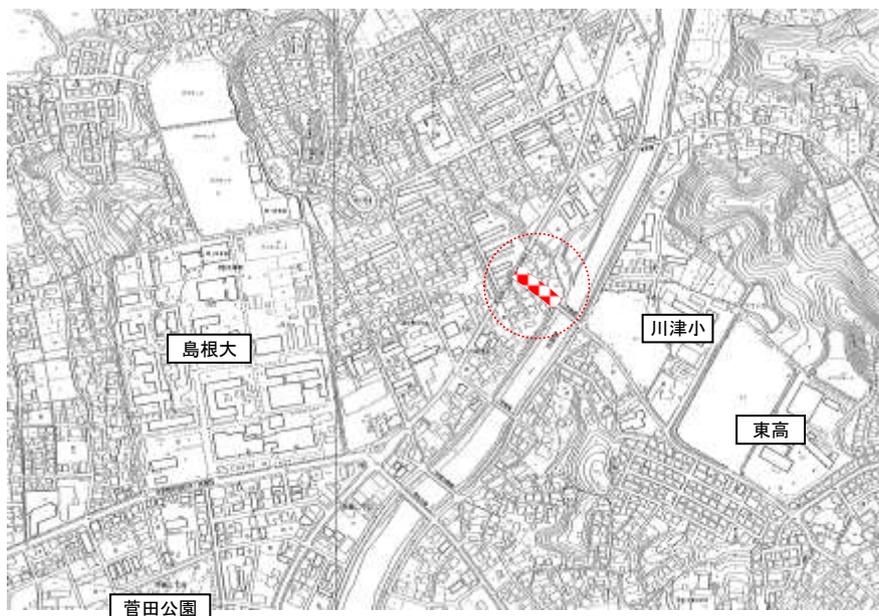
コメント

川津小学校の児童180名のほか東高の生徒が利用する通学路。
マウンドアップ形状の歩道だが、不要な切り下げ箇所が多く歩きにくい。特に児童の集団登校時には転倒の恐れがある。
セミフラット型に改良し、バリアフリーな歩道とする。

【関連する計画】

通学路緊急対策事業
社会資本総合整備計画（通学路）

位置図、現況写真



安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

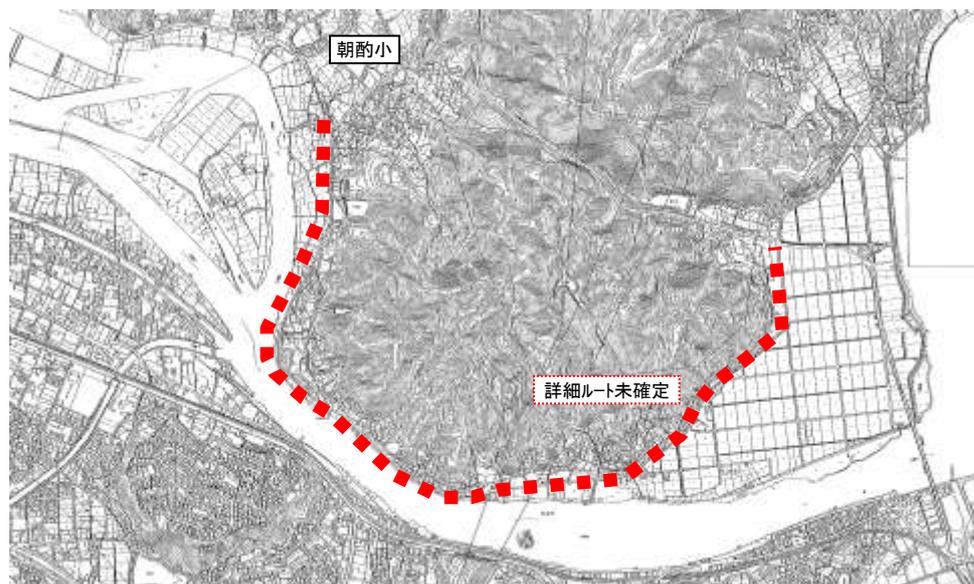
No.	朝酌 1	路線名 西尾大井線		区間	起 朝酌町845-2 終 大井町200-2	延長	3,350 m
区分	○通学路	イメージ 整備			歩道新設（片側）	概算金額	411,000 千円

コメント

※概算事業費は道路改良事業全体額

朝酌小学校の児童26名が利用する通学路。
 松江だんだん道路の供用に伴い交通量は減少したが、歩道のない狭小な道路にもかかわらず見通しが良いため車両速度が速く、またバス路線にもなっており、児童は路肩ぎりぎりを通る車両すれすれで通行している。以前から危険が指摘されていた路線。
 大橋川改修に伴う西尾大井線の道路改良に合わせ、片側歩道の新設を行う。
 なお、事業延長が長大なため、計画期間中の着手と着実な事業進捗を目指す。
【関連する計画】
 大橋川改修関連事業

位置図、現況写真



安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

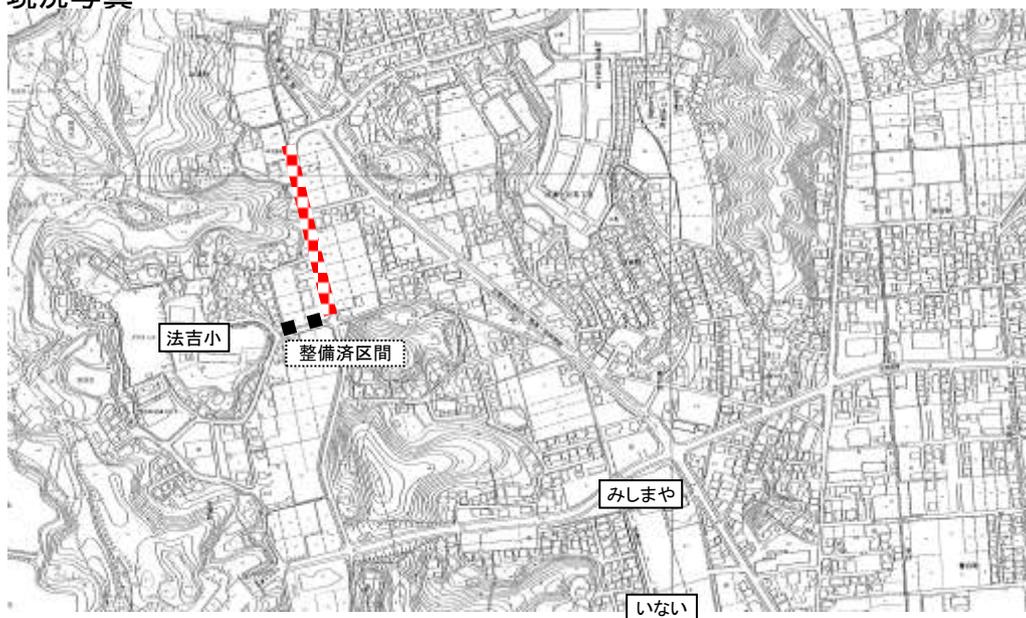
No.	法吉 1	路線名 比津国屋線		区間	起 比津町157-9 終 比津町40-7	延長	180 m
区分	○通学路	イメージ 整備			歩道拡幅、セミフラット化 (片側)	概算金額	31,000 千円

コメント

法吉小学校の児童330名のほか一中の生徒が利用する通学路。
 両側に歩道があるものの、比津が丘団地方面からの大集団の児童の通行には幅員が狭く、車道にはみ出ている。
 隣接する水路に蓋かけのうえ歩道を拡幅改良することで、旧計画で拡幅した歩道の連続整備をする。

【関連する計画】
 通学路緊急対策事業
 社会資本総合整備計画（通学路）

位置図、現況写真



安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	竹矢 1	路線名 八幡団地第1号線	区間 起 馬潟町366-61 終 馬潟町168-3	延長	590 m
区分	○通学路	イメージ 整備	防護柵設置 自転車通行空間(路肩)の整備	概算金額	17,000 千円

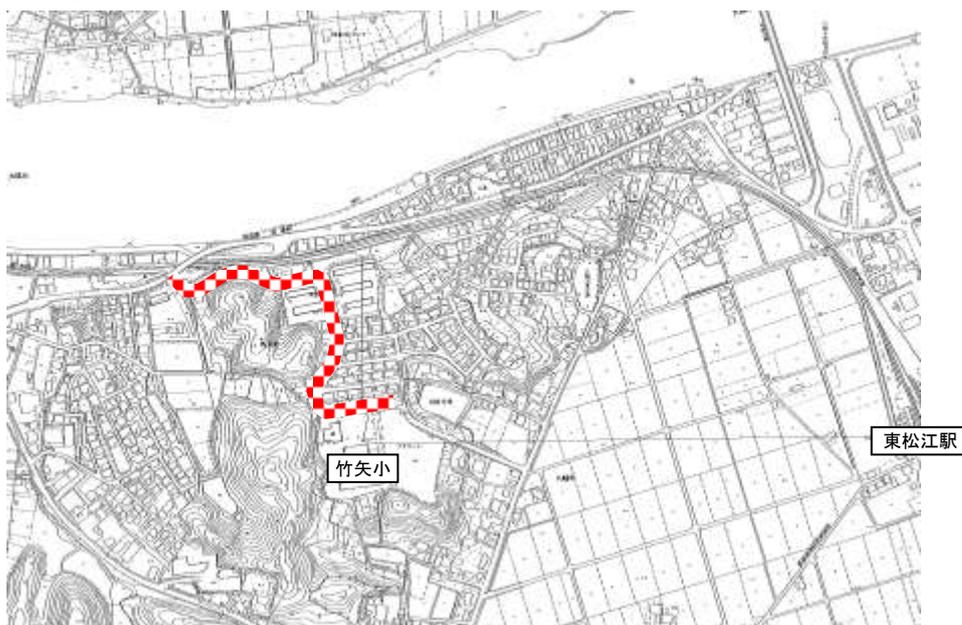
コメント

竹矢小学校の児童150名のほか湖東中学校の生徒が利用する通学路。
急勾配・曲線の道路だが二車線のため車両のスピードが速い。歩道はマウンドアップ型であるものの車両の乗り入れ事故が懸念されるため、歩車道境界に防護柵を設ける。
中高生が狭い歩道を自転車で下るため、小学生と衝突の危険性がある。車道路肩を改良し、自転車の車道走行を促す。

【関連する計画】

通学路緊急対策事業
社会資本総合整備計画（通学路）

位置図、現況写真



安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	大庭 1	路線名 出雲郷大庭線	区間 起 大草町701 終 大草町859-2	延長	900 m
区分	○通学路	イメージ 整備	歩道新設（片側）	概算金額	162,000 千円

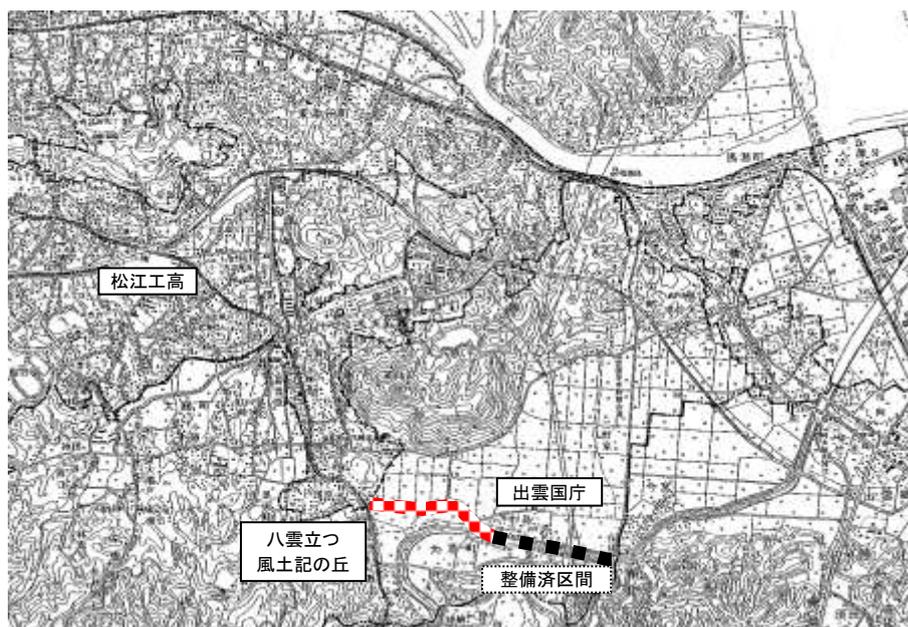
コメント ※概算事業費は道路改良事業全体額

湖東中の生徒が利用するほか東出雲町から中心部の高校に通う生徒の通学路。
 本路線は大草町を東西につなぎ国道432号に接続する幹線道路だが、狭小のため平成17年から拡幅改良事業を行っている。この事業のなかで片側歩道の新設を行い、安心・安全な歩行環境を整備する。

【関連する計画】

- 第3次松江市歩道整備計画
- 県施行意宇川改修事業
- 県施行国道432号大庭バイパス整備事業

位置図、現況写真



【参考：整備済区間】

安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	生馬 1	路線名 下佐陀古志線	区 間	起 西生馬町498-1 終 下佐陀町1098	延長	140 m
区分	○通学路	イメージ 整備	歩道新設（片側）		概算金額	12,000 千円

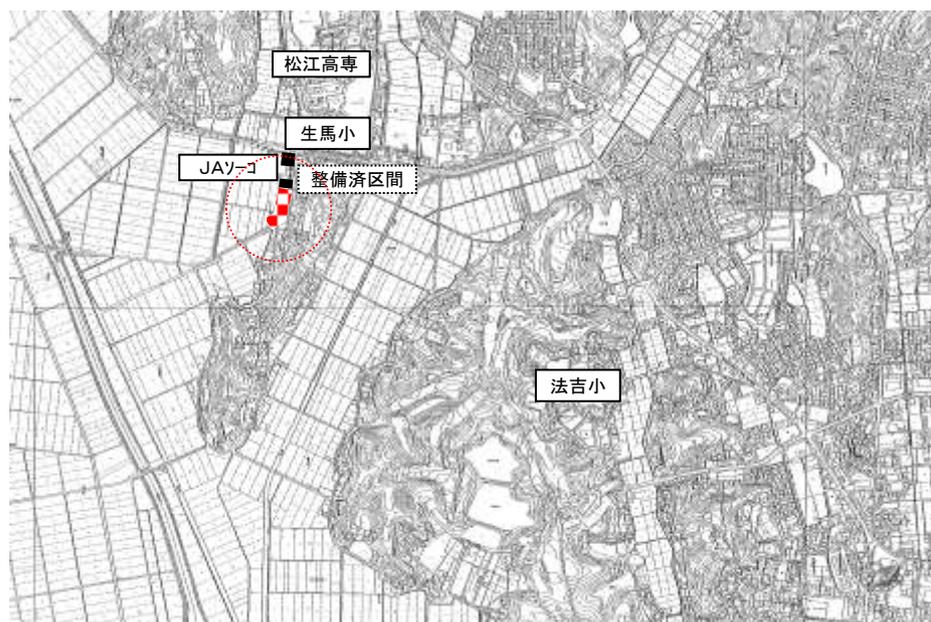
コメント

生馬小学校の児童13名が利用する通学路。
旧計画から実施している片側歩道の新設を継続施行し、通学路の安全を確保する。

【関連する計画】

第3次松江市歩道整備計画

位置図、現況写真



【参考：整備済区間】

安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	持田 1	路線名 北山線		区間	起 西持田町1097-1 終 西持田町1118-1	延長	120 m
区分	○通学路	イメージ 整備			歩道新設（片側）	概算金額	35,000 千円

コメント

持田小学校の児童16名が利用する通学路。
 北山線は国道431号と並行する幹線道路で、不特定多数の通過交通があり速度も速い。児童は路肩ぎりぎりを通り車両と対面通行しており、大変危険な状況にある。
 片側に歩道を新設し、児童の安全を確保する。

【関連する計画】
 通学路緊急対策事業
 社会資本総合整備計画（通学路）

位置図、現況写真



安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	古江 1	路線名 古志大野線		区間	起 古曾志町1090-2 終 古曾志町193	延長	1,195 m
区分	○通学路	イメージ 整備		歩道拡幅（片側）	概算金額	186,000 千円	

コメント

※概算事業費は道路改良事業全体額

古江小学校の児童120名が利用する通学路。

古志大野線は国道431号と並行する幹線道路で、不特定多数の通過交通があり速度も速い。片側歩道があるものの狭く、またカーブが多い道路で車両の歩道乗り上げ事故も起きている。

平成17年度からの継続事業であり、道路拡幅・線形改良に合わせ歩道を拡幅し、児童の安全を確保する。

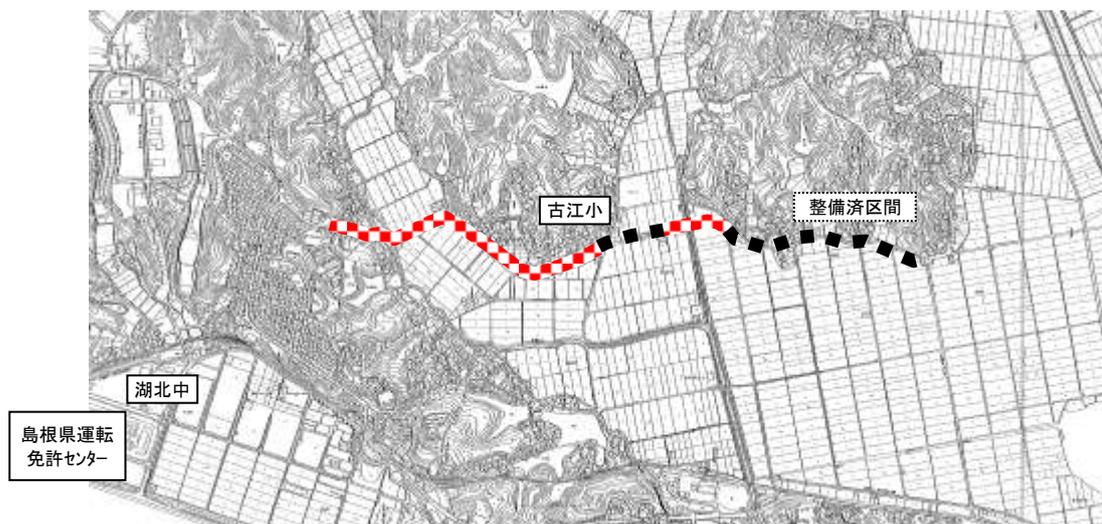
【関連する計画】

第3次松江市歩道整備計画

通学路緊急対策事業

社会資本総合整備計画（通学路）

位置図、現況写真



安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	八雲 1	路線名 元田平原線	区間	起 八雲町西岩坂4091 終 八雲町西岩坂857-2	延長	410 m
区分	○通学路		イメージ	歩行帯整備 ・側溝改良（側溝蓋掛け）	概算金額	20,500 千円

コメント

八雲小学校の児童9名と八雲中学校の生徒12名が利用する通学路。
歩道のない1車線道路だが、朝夕の通過交通が多いことに加え、カーブが多く見通しも悪いことから、児童・生徒にとって危険な状況にある。
道路側溝に蓋掛けし路側帯を拡幅することで、児童・生徒の歩行帯を確保する。

位置図、現況写真



【起点(学校)側には片側歩道あり】

安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	玉湯 1	路線名 岩屋前線	区間 起 玉湯町玉造1391-10 終 玉湯町玉造1359	延長	240 m
区分	○通学路	イメージ 整備	歩行帯整備 ・路側帯新設（水路蓋掛け）	概算金額	15,000 千円

コメント

玉湯小・中学校周辺で、児童・生徒の利用が多い道路。
旧計画で重点的に整備した玉湯中学校周辺道路の残区間で、水路に蓋掛けし路側線を設置することで児童・生徒の歩行帯を確保する。

【関連する計画】

第3次松江市歩道整備計画

位置図、現況写真



安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	玉湯 2	路線名 湯町中央線		区間	起 玉湯町湯町944 終 玉湯町湯町41-1	延長	510 m
区分	○通学路 ○公共交通機関発着所		イメージ 整備	歩行帯整備 ・片側路側帯カラー舗装 ・路側線上にラバーポール設置		概算金額	8,000 千円

コメント

玉湯小学校の児童63名と玉湯中学校の生徒が利用する通学路。

県道浜乃木湯町線の整備に伴い通過交通は減少しているものの、国道9号バイパス整備以降、沿線の宅地開発が急速に進んでおり、今後交通量や児童数の増加が見込まれる地区である。

本路線は旧県道でバス路線でもあるが、両側に民家が張り付く1車線道路で、歩道の新設は困難。片側路側帯を拡幅のうえカラー化し、要所にラバーポールを設置することで、歩行帯の明示と車両速度の抑制を図り、歩行者の安全を確保する。

位置図、現況写真



安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	宍道 1	路線名 大宮田・小松線	区間 起 宍道町宍道382 終 宍道町白石224	延長	400 m
区分	○通学路	イメージ 整備	歩行帯整備 ・バリアフリー化（側溝改良）	概算金額	15,000 千円

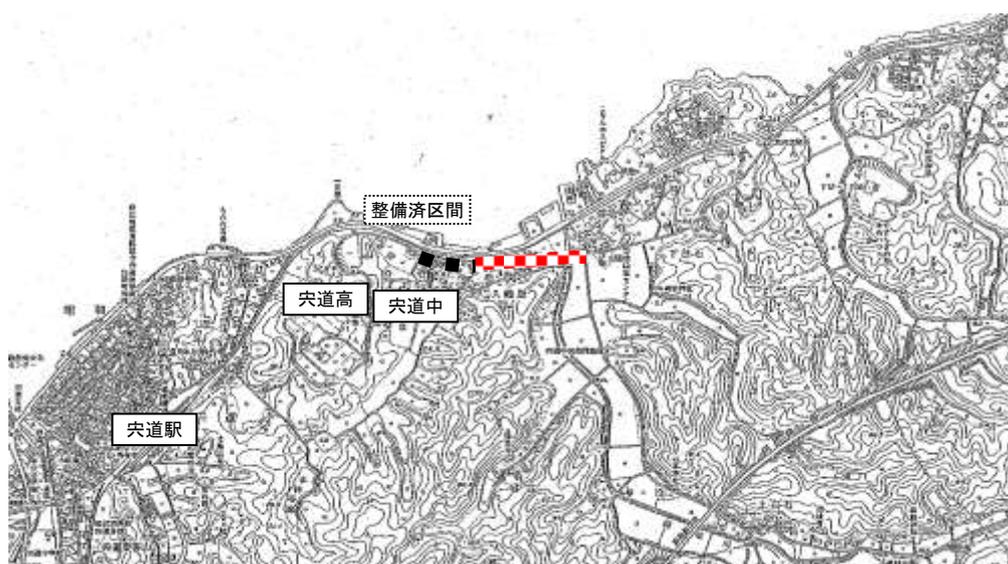
コメント

宍道小学校の児童23名のほか宍道中の生徒が利用する通学路。
 国道9号と並行していることから通過交通が多いことに加え、宍道高校が開校したこと
 に伴い交通量は更に増加している。老朽化し凸凹になった側溝を改良しバリアフリー
 化することで、児童・生徒の歩行帯を確保する。

【関連する計画】

第3次松江市歩道整備計画

位置図、現況写真



【参考：整備済区間】

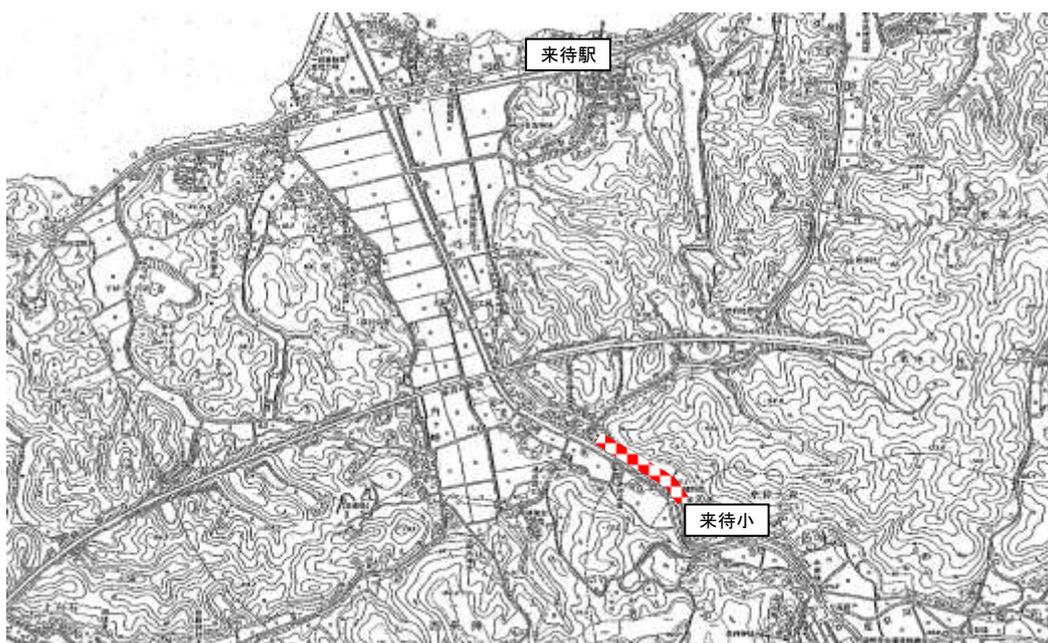
安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	宍道 2	路線名 来待小学校線		区間	起 宍道町東来待1950-1 終 宍道町上来待123	延長	335 m
区分	○通学路	イメージ 整備			歩行帯整備 ・路肩整備 ・側溝改良（側溝蓋掛け）	概算金額	11,000 千円

コメント

来待小学校の児童96名が利用する通学路。
 直接小学校へ至る路線のため大半の児童の通学路であるが、狭小な道路でこの区間に歩道はない。路肩も未整備の箇所があり車道に逸脱する児童も多いことから、路肩を整備することで児童が通行できる歩行帯を確保する。

位置図、現況写真



安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	東出雲 1	路線名	揖屋出雲郷線	区間	起 東出雲町揖屋689-26 終 東出雲町揖屋433-3	延長	650 m
区分	○通学路 ○公共交通機関発着所	イメージ	整備 ・路側帯カラー舗装	概算金額	15,000 千円		

コメント

揖屋小学校の児童73名と東出雲中学校の生徒が利用する通学路。
 国道9号と並行し揖屋駅に至る路線で不特定多数の通過交通があり、狭小であるものの見通しが良いため車両速度が速い。また、民地から路肩へのはみ出し駐車も目立ち、歩行者の路側帯通行を妨げている。
 両側路側帯をカラー化することでドライバーへの注意を喚起し、車両の速度抑制を図るとともに歩行者のためのスペースを確保する。

位置図、現況写真



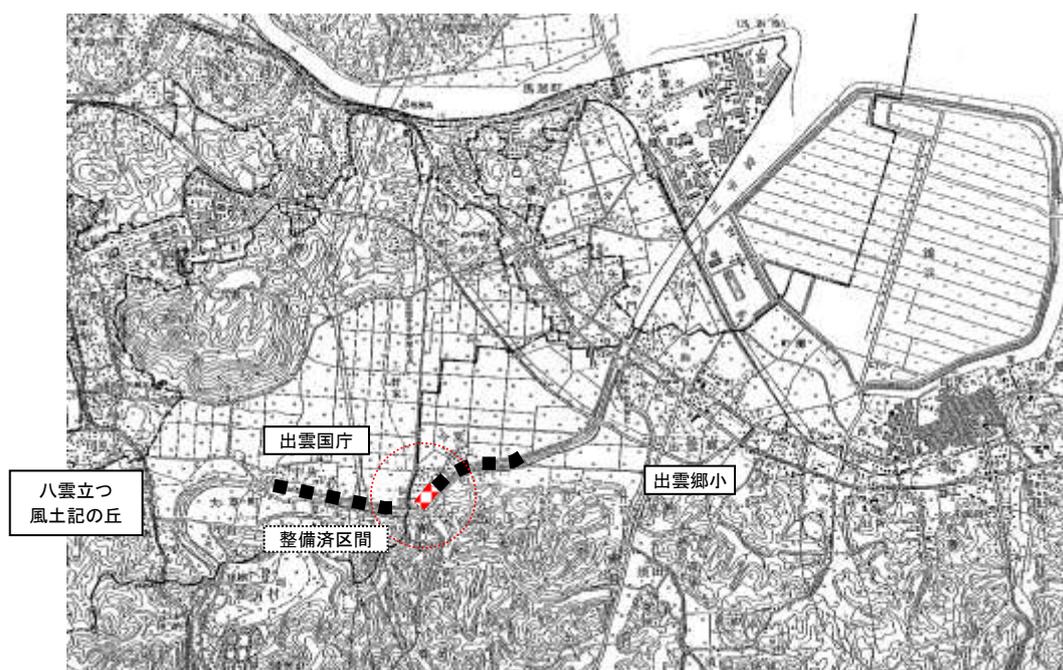
安心・安全歩行空間創造プラン 整備箇所票

No.	東出雲 2	路線名 出雲郷大庭線	区間 起 東出雲町今宮166 終 東出雲町春日179	延長	170 m
区分	○通学路	イメージ 整備	歩道新設（片側）	概算金額	20,000 千円

コメント

出雲郷小学校の児童37名のほか東出雲町から中心部の高校に通う生徒の通学路。
 本路線は大草町地内の国道432号と東出雲町出雲郷地内の国道9号を繋ぐ幹線道路で、合併前から旧松江市と旧東出雲町がそれぞれの市・町域の歩道整備を行っており、出雲郷小通学路のうち当該区間の整備が残っている。
 朝は不特定多数の通過交通がある路線であり、片側歩道を延伸することで児童の安全を確保する。

位置図、現況写真



【手前は整備済の歩道】